

※このメールは、教育振興運動推進の一環として、岩手県内の社会教育・学校関係者等あてに送付しています。

【沿岸南部育事務所・教育振興運動推進研修会】

6月12日(水)に、県立福祉の里センターを会場に、沿岸南部教育事務所管内の教育振興運動推進研修会が開催されました。

実践事例発表では、住田町の発表がありました。

この住田町の特徴は、町の自然環境を学習素材にした森林環境学習です。また、幼児から高齢者まで各年代に応じた森林環境学習を系統的、継続的に行っていることも特徴です。

まず、幼児対象には、種山ヶ原で春、夏、秋、冬の年4回、自然観察や散策等を親子で体験する「森の保育園」を実施しています。地域の森の案内人が講師を務めますが、小さい頃、この事業に参加した子が高校生ボランティアとして参加しているそうです。

また、世田米小学校や有住小学校で行われている種山体験学習や総合的な学習の時間を活用した水生生物調査(世田米小)や川砂金採り(有住小)の体験活動、中学校で行われている間伐体験等についての発表もありました。

さらには、住田高校での森林の担い手セミナーや一般の大人向けの指導者養成講座等の紹介もありました。森林に関する学びの成果が世代を超えて生かされている取組であり、ふるさとの森林が、まさに世代間をつなぎ、5者をつなぐ取組でした。

そして、青森中央学院大学の高橋先生による「今、改めて教育振興運動の意義と課題について考える」と題した講演では、「開かれた学校づくり」から「新しい公共」型学校づくりまでの20年間の流れを踏まえて、教育振興運動はこの一連の理念を先取りした先進的取組であると評価くださいました。また、東日本大震災の教訓として明らかにされたコミュニティの大切さにふれ、教育振興運動が創るコミュニティの意義に示唆を与えてくださいました。教育振興運動による5者のつながりが地域コミュニティの活性化につながり、自然災害等に対するひとつの対処策であることを教えていただきました。

今回も、いろいろな取組がお互いに「見え」、そして「つながる」ことの大切さについて学ばせていただいた研修会でした。

★教育振興運動イメージソング

「Hand In Hand」は、こちらで聞くことができます。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/HANDINHAND.html>

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第95号は、7月23日(火)配信予定です。

★バックナンバーはこちら。

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html

★全県共通課題(家庭学習と読書推進)の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukajirei.html>

★「全国生涯学習ネットワークフォーラム 2013」が岩手で開催されます。

詳しくはこちら。

⇒ 文部科学省

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/shoubaigakushu/1307857.htm

Facebook <http://www.facebook.com/manabipeer>

まなびネットいわて <http://pref.iwate.jp/~hp1595/>

~~~~~配信元~~~~~

\* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課 教育振興運動担当  
転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう!」という雰囲気あなたから作りだしてください。

~~~~~